



#731 週休2日で残業もほぼなし！管理作業削減にはICT建機が必須！

■■現場詳細■■長崎県西海市

肥前大島港工業団地整備工事（埋立工11工区、12工区）

海を埋立て後、工業団地造成のための整備工事

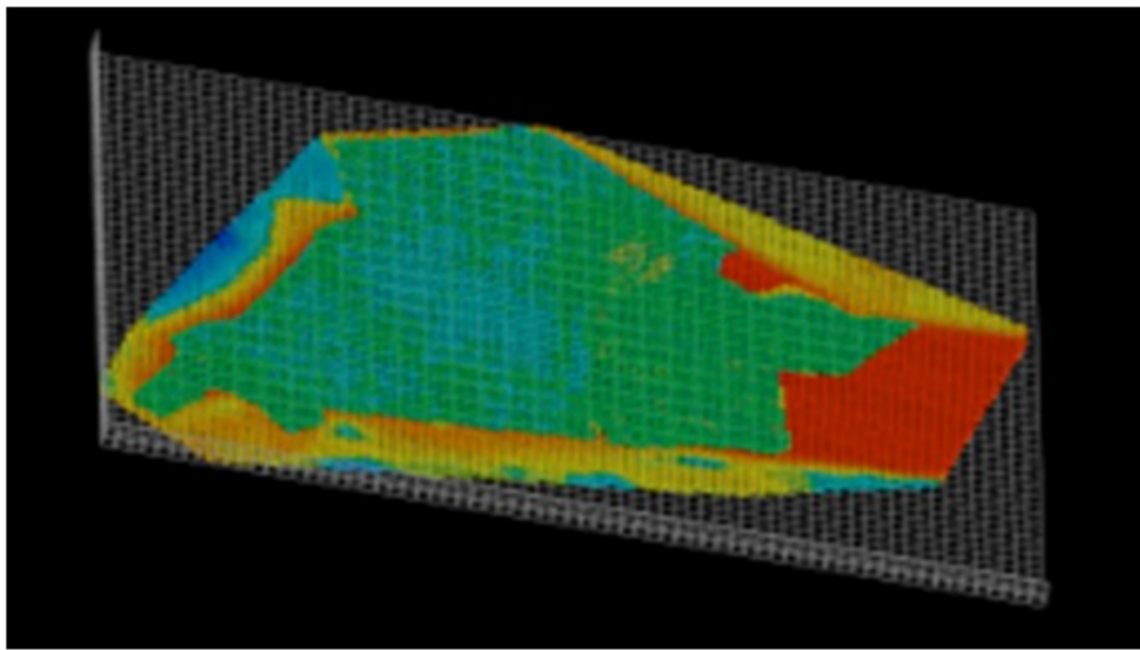
【施工面積】270,000m²【施工土量】270,000m³

【ソリューション】スマートコンストラクションアプリ/Smart Construction Fleet

(掲載月：2022年8月)

管理が追い付かない！！広大な現場にはICT建機を

現場管理と危険リスクの軽減 少人数で生産性向上へ！



■■導入経緯■■

(株)クボタ

工事部 竹本史成さん

今回の現場は、元々海だったところを3年位かけて埋立する工事をしていて、最後の仕上げとしてブルドーザーでの整地を行う工事でした。

1日300台のダンプが材料を運んで来ますが、積んでいる土質がバラバラで、リストを見ながら誘導しなければならず振り分け作業がとても大変です。

さらに、270,000m²という広大な面積だったため、従来の光波やオートレベルを使用した測量作業では管理が追い付かないと思い、3次元設計データを基に施工可能なICTブルドーザーを導入することにしました。

■■導入効果■■

錦建設工業(株)

工事主任 江口一郎さん

施工を担当したのは、ICTブルドーザー初心者のベテランオペレーターです。オートスイッチを押して作業機操作レバーを一度倒すだけという簡単な操作で、ブレードが自動で動き3次元設計データ通りに均してくれるため、測量のための手元作業員も必要なく接触リスクもありませんでした。仕上がった高さを測量しなくても、ICTブルドーザーが動くだけで精度よく仕上がっていくため、ダンプの振り分け作業に集中できて良かったです。また、Smart Construction Fleetでは、ダンプ運転手毎の速度などを表に出力し、安全管理や注意喚起などに活用しました。近年では県の工事でも週休2日が増えていますが、ICT活用工事を行うことで従来のように丁張り設置のための測量準備などに時間をとられないため、残業もほとんどなく働き方改革にもつながっています。広大な面積だったため、ICTブルドーザーを導入していなければ管理者の人数を増やさないと管理できなかったと思います。そこに手をかけず終わって、本当に良かったです。

錦建設工業(株) 様

錦建設工業(株)

昭和44年 創業53年

<誠意・和・努力>

(株)クボタ

昭和48年 創業49周年

想いをカタチにする 理想の暮らし あなたの「こうしたい」を叶える 株式会社クボタのまちづくり



錦建設工業(株)
工事主任 江口一郎さん



(株)クボタ
工事部 竹本史成さん